

謹賀新年

旧年中は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございました。
本年も変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

2017年 ニュース・イベント・ピックアップ (それぞれをクリックして詳細へ)

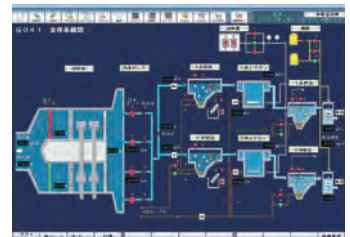
- 2月1日 多数の拡張機能でより一層パワーアップした SL 社の RTView 新バージョン 6.9: 監視画面の作成とデータ接続などで、可視化と監視ダッシュボードの開発と運用をさらに強化
- 3月3日 Application Performance 2016 セッション内容の拡大版セミナー開催: 「IoTなど複数現場から異種性能データを集約して見える化～サービスや事業に応じてカスタム構築する監視ダッシュボードとデモ」@TEPIA (青山)
- 4月14日 IoT分野で SL 社の RTView が FUJITSU Software 連携パートナープログラムに登録: 複数の現場から FUJITSU Software Enterprise Postgres に集約されたさまざまな IoT データをリアルタイムに可視化して監視する連携ソリューション
- 6月9日 デモと事例による具体的な解説で好評の SL-GMS 構築技法セミナー開催: 「開発・保守工数を加速的に削減する、監視制御システム画面とその専用カスタム・エディタの構築技法～リモートデスクトップ機能を使い、Android や iPad でシンクライアント運用するデモと技法などを追加！」@TEPIA (青山) [右写真]
- 6月20日 明電舎が、大規模な下水道プラント用設備監視制御システムの 64 bit ネイティブ対応で SL-GMS を採用し、迅速な市場投入: 64 bit 版 SL-GMS Developer for .NET ならびに Custom Editor for .NET 製品で開発 [右画面]
- 7月12日 可視化と監視ダッシュボードの開発と運用をさらに強化した、SL 社の RTView 新バージョン 7.0 をリリース: 新しいアラート・スケジューラ追加の他、セキュリティ強化、ビルダーやディスプレイ・サーバの機能拡張など
- 9月14日 SL ジャパンの代表取締役社長である羽島良重が、JPタワー ホール&カンファレンスで開催された Application Performance 2017 で講演 [右下写真]: 「複数のオペレーション/データセンターから集約した異種性能データを、モバイルで監視できるクラウド運用ダッシュボードのカスタム構築」
- 10月26日 Online News 11月号より 米 SL 本社、“Digital Smarter” をテーマした TIBCO NOW 2017 (10/25-26 @サンディエゴ) で基調講演 [右下写真]: プラチナ・スポンサーとして出展し、CEO で創立者の Tom Lubinski が Keynote で講演した他、オペレーション&ビジネス開発担当 VP の Ted Wilson が講演
- 10月26日 Online News 11月号より SL ジャパン、平成29年度東京都赤十字大会において「社長感謝状」を受賞
- 11月27日 SL-GMS Developer for .NET とその Custom Editor for .NET オプションの新バージョン 5.0a をリリース: Visual Studio 2017 ならびに .NET Framework 4.7 をサポート追加した他、64 bit 版では DirectX グラフィックエンジン・オプションを新たに導入 [裏面記事]
- 11月29日 東芝インフラシステムズが、スマートフォンやタブレットからも高速にシンクライアントで操作できる統合制御システムの OIS-DS リモートデスクトップに SL-GMS を活用 [裏面記事]
- 12月26日 高度な制御システムのダイナミック GUI と固有カスタム・エディタの開発を専門とする SL-GMS C++/Developer の新バージョン 7.0a をリリース: Visual Studio 2017 をサポート追加した他、64 bit (Windows) 版では DirectX グラフィックエンジン・オプションを新たに導入 [裏面記事]
- 12月27日 SL ジャパンは 2017 年度 (12 月決算) の利益の一部から、日本赤十字社に 500,000 円を寄付しました。



(デモビデオ) IoTなど複数現場から集約された異種性能データをRTViewで一元可視化して監視



SL-GMS 構築技法セミナー@TEPIA (青山)



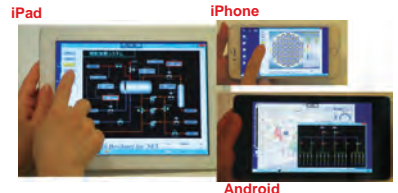
(株)明電舎様ご開発 大規模下水道プラント用設備監視制御システム



Application Performance 2017



TIBCO NOW 2017 で基調講演



iPad iPhone Android コンパクトで高速な SL-GMS を、リモートデスクトップでサクサクにシンクライアント運用 (デモビデオ)

東芝インフラシステムズが、スマホやタブレットからもシンクライアントで操作できる 統合制御システムのOIS-DSリモートデスクトップに SL-GMS

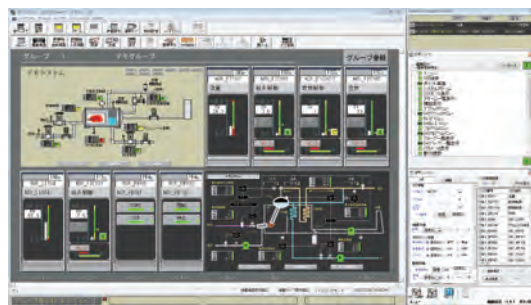
2017年11月29日 ニュースリリースより:

SL ジャパンは、東芝グループの社会インフラ事業を担う**東芝インフラシステムズ株式会社**が、同社の統合制御システム CIEMAC-DS/nv のオペレータステーションである OIS-DS 製品のシンクライアント・リモートデスクトップ環境の投入で、SL-GMS C++/Developer を活用していることを発表しました。

これまで、ローエンドのSCADAであるOIS-DS/SmartからハイエンドのDCSまでの全 CIEMAC-DS 製品ラインで SL-GMS が組み込まれて再販されてきましたが、今回東芝インフラシステムズが新たに投入したシンクライアントOIS-DSリモートデスクトップ環境においても SL-GMS が活用されています。

シンクライアント OIS-DS リモートデスクトップは、11月29日から東京ビッグサイトで開催された「計測展 2017 TOKYO」の東芝グループ・ブースに出展されました。

☆ニュースリリース全文はこちら: http://www.sl-j.co.jp/newsevents/pressrelease/2017/sl_j_press_171129.shtml



ワイドスクリーンに対応したナビゲーション機能付き
OIS-DS操作卓画面

SL-GMS 新バージョン 5.0a (.NET), 7.0a (C++) で Visual Studio 2017 サポート追加、 64 bit 版で新しい DirectX グラフィックエンジン・オプションを導入

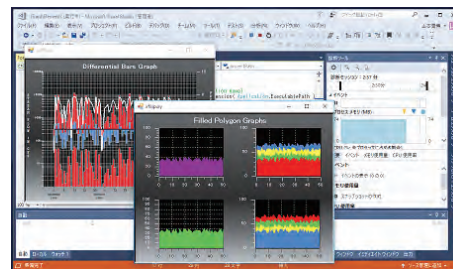
2017年11月27日、12月26日 ニュースリリースより:

去る11月末にリリースした SL-GMS Developer for .NET 新バージョン 5.0a では、新たに Visual Studio 2017 ならびに .NET Framework 4.7 をサポート追加し、去る12月末にリリースした SL-GMS C++/Developer 新バージョン 7.0a でも、新たに Visual Studio 2017 をサポート追加しています。

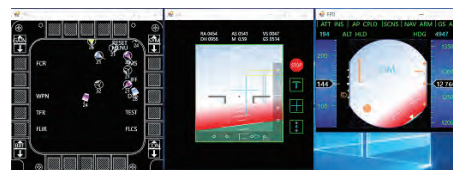
また、V5.0a (.NET) ならびに V7.0a (C++) の 64 bit 版 SL-GMS (Windows 版) 製品では、新しい DirectX (Direct2D) グラフィックエンジン・オプションを導入しており、たとえば航空宇宙シミュレータなど最もヘビーなレンダリングを要するグラフィック・アプリケーションで活用できるようになります。また DirectX を使用することで、アルファチャネルによる透明機能を SL-GMS の動的属性でコントロールできる他、従来 GDI+ グラフィックエンジン・オプションで提供していたアンチエイリアシング機能がより速くなります。

☆V7.0a (C++) ニュースリリース全文はこちら:
http://www.sl-j.co.jp/newsevents/pressrelease/2017/sl_j_press_171226.shtml

☆V5.0a (.NET) ニュースリリース全文はこちら:
http://www.sl-j.co.jp/newsevents/pressrelease/2017/sl_j_press_171127.shtml



Visual Studio 2017 における SL-GMS



DirectX グラフィックエンジン・オプションを使った
フライトシミュレータ・デモ

Application Performance 2017 拡大版セミナー開催のご案内



**拡大版セミナー 「複数のオペレーション/データセンターから集約した異種性能データを、
モバイルで監視できるクラウド運用ダッシュボードのカスタム構築」**

★2018年3月9日(金) 15:00 ~ 17:00 [無料・事前登録制] @TEPIA (東京・外苑前駅から徒歩4分)

分散した複数のデータセンター、オペレーションセンター、工場、プラント、ビルなどから集約した、さまざまな既存の「モノの監視」データを、サービスや事業に関連付けてリアルタイムに一元可視化する「性能監視」ダッシュボードの「カスタム構築」について、事例とデモを交えて解説します。「IoT データ監視」や「DCIM(データセンター・インフラ管理) + サービス監視」デモの他、フィールドからマネジメントまでスマホやタブレットで職務役割別に閲覧操作できる監視ダッシュボードを、RTView のビルダーを使って実際にカスタム構築し、クラウドで運用を実演します。



ICT 設備、電気設備、生産設備などの「モノの監視 "Monitoring of Things"」は、SL 社が長年得意としてきた専門分野です。

セミナー・サイト: (トップページからも入れます。)
http://www.sl-j.co.jp/newsevents/AP2017_session.shtml

昨秋9月14日に JP タワー ホール & カンファレンスで開催された、Application Performance 2017 セッション内容の『拡大版セミナー』です。

☆セミナーのお申し込みは、電子メール sl-seminar@sl-j.co.jp またはセミナー・サイトから承っております。



Real-time Alerting



Dashboard Visibility



Command and Control

Real-Time Visibility

年3回発行 2018年1月15日発行 通巻59号



株式会社 SL ジャパン

〒107-0062 東京都港区南青山3-8-5 アーバンプレム南青山 3階
Tel. 03-3423-6051 info@sl-j.co.jp www.sl-j.co.jp

◆記載される会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。
◆記載内容は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。
◆記載事項の一部または全部の無断転載を禁じます。